

List of grammar points appearing in past JLPT Level 1 tests (1992 – 2003)

1. 私は、彼がなぜ人を困らせるような事ばかりするのかわからない。
2. 最近、公害を出す企業きぎょうに対する批判ひはんが強くなっている。
3. 話し方からすると、彼は東京の人ではないようだ。
4. たとえ貧しくても、親子いっしょに暮らせるのがいちばんだ。
5. 暑くなったとたん、ビールの売れ行きがよくなった。
6. 「愛してる」なんて言葉は日本人にはなかなか言えない。
7. 1999年、この競技場において、世界卓球大会が開催された。
8. 美しいものへの憧れあこがは、洋の東西ようを問わず、いつの時代にもあったことである。
9. 日本の文化に独自のものがあるとなれば、それは日本の歴史が作ったものである。
10. 「この仕事、ずいぶんもうかるでしょう」
「いや、経費がかかりすぎて、もうかるどころじゃありませんよ」
11. 「開発」の名のもとに大規模な森林破壊が進んでいる。
12. 夫も子どもも亡くなってしまって、たった一人の弟に頼るほかない。
13. 日本人と付き合い合っていたら、知らず知らずのうちに、日本語が上手になっていた。
14. だれかに相談すれば簡単に解決できたものを、どうして一人で悩んでいたのだろう。
15. 昔に比べて体力が衰えたとはいえ、まだまだ若い者には負けない。
16. ちょっとでも間違いをしようものなら、上司にひどく怒られる。
17. 彼をおいて、この仕事を任せられる人間はいないだろう。
18. 首相が変わったからといって、政治がすぐによくなるわけではない。
19. 市民の皆さんの協力なくして、ゴミ問題の解決はありません。
20. 本日はお忙しいところをおじゃまして……。

21. 今年は、昨年にも^{まして}台風が多い。豊作はあまり期待できないようだ。
22. また、いやな仕事がまわってきた。腹立たしいことといったらありや^{しない}。
23. 救急活動は、人命に^{かかわる}ことだから、一刻^{いっごく}を争う。
24. 大学の図書館を、だれでも利用できるという^{ふう}にすれば、いいと思う。
25. 人に言われる^{までもなく}、この事件の責任は私にあります。
26. 明日は忙しいので、行ける^{としても}夜遅くなってしまう。
27. 日本は、島国^{ゆえ}に海運業がさかんになったと言われている。
28. あき子は、親の心配^{をよそに}、遊んでばかりいる。
29. 天才とは^{言わない}までも、彼女は才能豊かな人物だ。
30. あまり無理をすると病気になる^{かねない}から、気をつけたほうがいい。
31. 社長 「あ、君。食事の用意はできているの」
社員 「はい、あちらのお部屋にすでに準備して^{ございます}」
32. 仕事をする^{一方で}、遊ぶことも忘れない、そんな若者が増えている。
33. 下記に転居しました。お近くに^{おこし}の節はぜひお立ちよりください。
34. 彼に成功をもたらしたものは、日々の努力^{にほかならない}。
35. 回目の交渉では、相手の態度の^{いかん}にかかわらず、こちらはこちらの主張を貫き通すつもりだ。
36. この問題に^{関して}は、もう少しみんなをよく考えてみてください。
37. 散歩^{がてら}ちょっとたばこを買ってきます。
38. 初めてそこを訪れたとき、^{なんと}いう美しい^{まち}街だろうと思った。
39. 子育ての^{かたわら}、近所の子供たちを集めて絵を教えている。
40. 彼が手伝ってくれた^{おかげ}で、仕事がいよいよ早く終わった。
41. 20歳にもなりながら、そんな簡単なこともできない^{とは}、実に情けないことだ。

42. どんな悪人^{であらうと}、心のどこかに良心は残っているはずだ。
43. 試験まであと一週間しかない。もはや一日^{いちにち}^{たりとも}無駄にはできない。
44. 彼は、事前の連絡^{なしに}会社を休んだ。
45. 一歩も後退はできない。ただ前進ある^{のみ}。
46. 先輩に命令されてやったことである^{にせよ}、責任は君にもある。
47. この一年間は良いこと^{づくめ}だったが、来年はどうだろうか。
48. 大雪で交通が麻痺^{まひ}し、^{動こうにも}動けなかった。
49. 休日には映画を見る^{なり}、音楽会に行くなりして、気分転換を^{はか}図ったほうがいい。
50. 最近、父^{ときたら}、私の結婚のことばかり気にしているのよ。
51. カメラを手に^{入れて}からというもの、彼は毎週撮影にでかけている。
52. 弟が社交的なタイプなの^{にひきかえ}、兄は人前に入るのを嫌うタイプだ。
53. 君の能力を^{もって}すれば、どこに行ってもやっていけると思う。
54. こうして君に大学進学を勧めているのは、君の将来を考えれば^{こそ}なんだよ。
55. この古新聞も、使い^{よう}によっては、何かの役に立つのではないかと思います。
56. 「この仕事、だれかやってくれないかなあ」
「だれもやる人がいないなら、私が^{やらさせていただきます}」
57. 田中先生、最近先生が^{お書きになった}ご本のことで、お伺いしたいんですが。
58. 山田さんのところは、去年火事にあって、今年のご両親が交通事故にあったそうだ。まったく同情を^{禁じえない}ね
59. わが社の危機を救える人は、あの人をおいて^{ほかにはいないだろう}。
60. 彼は帰国してから、重い病気にかかり、歩くことはおろか^{起き上がる}ことすらできない。
61. 彼はよく冗談^{じょうだん}を言って、人を笑わせているので、さぞや明るい男だと思いきや、^{実は孤独で悩み}

多き男だった。

62. この30年間の日本経済発展は、その時々^{さいせんたん}の最先端技術をとりにれた技術革新なしにはありえな
 かったらう」
63. あなたがいくら仕事に専念したところで、あなた一人では、その仕事をこなせないでしょう。
64. 息子はA大学に進学することを希望している。しかし、今の息子の学力ではとても無理だから、別の大学を受験させるしかない。本人の希望とは違ってもしかたがないことだ。
65. 男女平等が叫ばれて久しい。日本は戦後、法律の上では男女が同権になったとはいえ、いぜんとして、現実には女性が差別を受けている。
66. 科学の進歩は、人類に無限の発展を約束し、われわれは、すばらしい未来を迎えるはずであった。ところが、今、予想に反して、科学の力には、限界のあることが次第に明らかになりつつある。
67. わたしには、世界のあちこちに友達がいる、絵葉書を送ってくれる。そういう絵葉書を壁にはり始めたところ、それが、いつのまにかものすごい数になった。今や壁という壁が絵葉書だらけになってしまった。
68. 現在の私たちにとって、もっとも緊急の問題は地球の環境汚染であろう。後の世代のために、自分とは無関係と考えずに、一人一人が自分自身の問題として、この問題を考えることが求められている。
69. 太陽といえども永遠に輝いているわけではない。いつかは消え去るときがくる。
70. 彼の栄光は、きびしいレースを勝ちぬいた末に獲得したものだ。
71. 小さい頃、よく泥まみれになって弟とけんかをしたものだ。
72. 喫茶店で、となりの席の話を聞くともなしに聞いていたら、私の会社のことだったので驚いた。
73. 子どものころ、死については考えるだに恐ろしかった。
74. あの時もっとがんばっていれば、と後悔してみたところで、今更しようがない。

75. あの人は話好きで、目があつたが最後、最低30分は放してくれない。
76. 他人を犠牲にすることなしに、個人の望みを達成することは困難だろうと考えている人もいます。
77. あそこの家の父親は、毎日朝から酒を飲んで暴れている。息子は、仕事もせずに賭けごと^かに夢中になっている。まったく、父も父なら子も子だ。
78. 「考えてみます」と言われたので、了承されたと思いきや、実はそれは「お断りします」という意味だった。
79. この困難な責務を果たせるのは、彼をおいてほかにはいない。
80. 環境問題の解決策をめぐって、熱心な議論が続いている。
81. この問題については、あなたなりのお考えがおありでしょうが、このところは私の言うとおりにしてください。
82. その赤ん坊は、私が抱きあげたら今にも泣き出さんばかりの顔をした。
83. 彼はとても忙しいらしい。食事をとるが早いか、すぐに飛びだしていった。
84. 詳しくお話をうかがってからでないと、お答えできません。
85. 自分のことだけではなく、相手の立場に立って考えることのできる人、それが大人というものだ。
86. 彼は読書が好きだが、読んだそばから何を読んだか忘れてしまい、同じ本を何冊も買ってしまう。
87. 経済問題の解決には、政府や企業の対応もさることながら、消費者の態度も重要な要素となる。
88. 徹夜はしないまでも、せめて夜12時くらいまでは勉強したほうがいいんじゃないですか。
89. とにかく事故現場をこの目で見ないことには、対策はたてられません。
90. チンパンジーは人間の模倣^{もほう}をするのみならず、互いに協力して共同作業をしているらしいという報告もある。
91. 実際に読んでみて初めて、古典のおもしろさを知った。
92. ^{はんどうたい}半導体に対する需要は、ここ数年、以前にもまして高まっている。

93. お世話になった先生に頼まれたからには、ことわるわけにはいかない。
94. 「これが最近書いた本なんです、あなたにさしあげますから、どうぞお読みください」、「はい、拝
見させていただきます」
95. 「先生の奥様はどの方かご存じですか」
「あそのお年を召していらっしゃるご婦人です」
96. 帰国する日にパスポートをホテルに置き忘れてくるなんて、いかにも彼のやりそうなことだ。
97. 不景気になってからというもの、長年、会社に貢献してきたひとでさえ、会社をやめさせられてい
る。
98. 運転手が教えてくれたからよかったものの、もう少しで大切な卒業論文をタクシーの中に忘れると
ころだった。
99. 彼が生活に困っているというから、お金を貸したのに、そのまま姿を消してしまい、今となってはあ
きらめるよりほかない。
100. 慎重なあの人に限って、そんなミスをおかすはずがない。
101. 苦難に満ちたあの人の人生は、涙なくしては語れない。
102. ノーベル賞を受賞した T 氏は、少年時代、劣等性^{れつとうせい}だったという。あの人にして そうなのだから、わ
が子が劣等生だからといって深刻に悩む必要もない。
103. わたしは子供のころから物事を決めるのが遅くて、ずっと悩んできた。たとえば、友達に旅行に誘
われても、行きたくないわけではないが、すぐに返事をしないで、いろいろ考えているうちに時間
がたってしまう。いつのまにか友達もあきらめ、旅行はとりやめになってしまい、残念に思うことが
多い。
104. これからの日本人は、国際人を目指すべきだという人もいる。しかし、日本に対する客観的な視
点が欠けている人は国際人をめざすどころか、国際という言葉の口にする資格すら疑わしいので

はないか。

105. 小さな個人商店を世界的な企業まで成長させた H 氏は、自分の人生を失敗の連続だったと語ったことがある。氏のように失敗に耐えられるぐらいでない、成功は望めないと言うことを改めて思い知らされた。
106. 子供の立場を考えずに、一方的に子供をしかりつける親もいる。だが、親は子どもをただしかればよいというものではない。親子の関係は信頼関係に支えられているのであって、それなしには、子供は親に反発するだけである。
107. さすがに一流の歌手ともなると違う。一回の出演料が数百万円だという。
108. もう少し早く病院に行けば助かったものを、^{ほう}放っておいたので、手遅れになってしまった。
109. 人前で演技をするのは初めての経験とあって、彼はひどく緊張していた。
110. 今日の午後3時までに原稿を提出しなければならず、今は一分たりともおろそかにできない。
111. 空港に着くや否や、恋人の入院先にかけてつけた。
112. こんな風が強い日に小型のボートで沖に出るなんて、危険極まりない。
113. あまりよく考えないで仕事を引き受けたばかりに、ひどい目にあった。
114. そんなひどいはずらは、たとえ子どもであれ許せるものではない。
115. いつも迷惑をかけていると知りつつも、つい甘えてしまう。
116. 大都市にはゴミ処理をはじめ、地震対策、交通渋滞など、さまざまな問題が山積みしている。
117. あのチームは勝たんがためには、どんなひどい反則でもする。
118. 人と人のコミュニケーションをはかることから、お互いの信頼関係がきづかれる。
119. あそこでは一流ホテルならではの豪華な雰囲気が味わえる。
120. A 氏は不動産業を営むかたわら、暇を見つけては作家活動をしている。
121. 映画を見終わって、主人公の生き方にひきかえ、自分の生き方がいかにいいかげんだったか、

強く反省した。

122. あの子は教師の忠告を^よそに、^{あい}相変わらず悪い仲間とつきあっている。
123. どの大学にしようかと、さんざん悩んだ^{あげ}く、A 大学に決めた。
124. あの大統領は庶民性をそなえているが^{ゆえ}に、人気を集めているという。
125. 話し合いの結果^{いかん}では、ストライキも辞さない覚悟だ。
126. ベストをつくしてやれば、成功しようと^{しまい}と関係ないのではないか。
127. 今の親は他人の子どもは^{おろ}か、自分の子どもさえも^{しか}叱らなくなったといわれている。
128. いかがですか。こちらのお着物はお気に^召されたでしょうか。
129. ^{さいひ}採否^のいかに^かかわらず、結果は郵便でお知らせいたします。電話でのお問い合わせには応じられません。
130. 「ご注文の品物ができあがりしましたので、今度の日曜日にお届けに^あがってもよろしいでしょうか」
131. 国際交流に^{びりよく}微力^ながら貢献できればと思っておりますので、よろしく願いいたします。
132. あの選手は子供のころ、サッカーに^限らずスポーツなら何でも得意だったそうだ。
133. 環境破壊を^{して}まで、工業化をおし進めていくのには疑問がある。
134. こう毎日レポートや試験に追われていては、国の両親に手紙を書こうにも^かけない。
135. 日本に来てしばらくは、国へ電話をかけるまいと思っていたが、今日はさびしくてたまらず、^かけてしまった。
136. 日本での生活が10年ともなれば、相手が黙っていても、イエスかノーか^分かるようになる。
137. 前政権が崩壊してからというもの、この国では中小企業の倒産、大手企業の合併が続き、多くの人が職場を離れることを^よ余儀なくされている。
138. せっかく遠くから来たのに、着いたそうそう帰れといわんばかりの顔をされては^帰らざるをえない。
139. まだ卒業論文が完成していないので、就職が決まったからといって、^喜んでばかりはいられません。

ん。

140. 公園のベンチにかばんを置き忘れたことに今気がついた。もう5時間もたっているから、もどって**さが**してみたところで、まず見つからないだろう。
141. 主張すべきことは相手がだれであっても主張すべきだ。それによって採用を**取り消されるなら**それまでのことだ。
142. そんなことは常識だ。君に言われる**までもない**。
143. 東京は土地の値段が高く、ふつうのサラリーマンが自分の家を持つことはかなりむずかしい。家を買えるとしても、通勤に不便な場所**になるだろう**。
144. 最近、日本では電話料金が下がり、手続きも簡単になった。また、電話機も小さくなり、性能もよくなったことから携帯電話の利用者は**増える一方だ**。
145. 天候に**かかわらず**あすは遠足に行きます。
146. 子供たちは動物園に着くが**はやいか**おやつを食べだした。
147. 試験の結果を**もとにして**クラス分けを行います。
148. 帰国のあいさつ**かたがた**おみやげを持って先生のお宅を訪問した。
149. 彼は学生として許す**べからざる**行為を行ったとして退学させられた。
150. 卒業生の健康と幸せを願って**やまない**。
151. きょうは朝からいいこと**づくめで**しあわせな気分だ。
152. 原子力発電所の建設に**あたって**住民との話し合いが持たれた。
153. あのレストランの料理は量**といい**味**といい**文句のつけようがない。
154. 駅前のスーパーまで散歩**がてら**買い物に行った。
155. 犯人は買い物をしていた**ところを**警官に逮捕された。
156. 列にわりこむなど紳士にある**まじき**行為だ。

157. ああでもない、こうでもないと迷惑をかけたあげく、あの[しまつだ]。
158. 十代の娘じゃ[あるまいし]そんなはでなりボンはつけられませんよ。
159. 水を[だしっぱなしにして]出かけてしまった。
160. あの患者は重い病気のため、一人では食事すら[できない]。
161. 今年の米は温暖な気候と適度な雨量とが[あいまって]豊作となった。
162. 動物保護に[かかわる]重要な環境問題について真剣に議論した。
163. 彼が秘密を外部にもらしたことは想像に[かたくない]。
164. 国防費を[かわきりに]種々の予算が見直されはじめた。
165. 任務[とはいえ]あの南極で長い冬を越すのは大変なことだろう。
166. 今回の出版に関してご配慮をたまわり感謝に[たえません]。
167. 他の人にとって厳しいトレーニングでも、あの運動は山田さんにとってはちょうどいい散歩[といつ
たところだ]。
168. 彼女の今までの苦勞を知っているので、留学が決まった時あれほど喜んだ気持ちが[わからない
でもない]。
169. あの作家は天才なのだから、わずか三日で傑作を書いたからといって、驚くには[あたらない]。
170. 毎日遅刻せずに会社に来るとはいえ、その仕事ぶりは[ひどいといったらない]。
171. 話をおもしろくするためだろうか、あの人はものごとを大げさに言う[きらいがある]。
172. 勉強よりまず健康のことを考えるべきだ。試験に合格しても、病気になってしまったら[それまでだ]。
173. 息子は一流の音楽家になるといって家を出た。大変だが、きっと目的を達成せずには[おかない
だろう]。
174. 雨が激しく降り始め、あたりが暗くなってきた。道路はすべりやすく、プロのドライバーでも運転が
難しい状況だった。この悪条件を[ものともせず]、参加者全員がみごとにゴールインした。

175. 私はお茶が好きで、毎日朝起きてまずお茶を飲む。これはずいぶん昔から習慣になっている。お茶なしには一日が始まらない。
176. 子供の頃、私は父によく「勉強をしろ」とか「きちんとあいさつをしろ」とか言われた。それに反発していたが、年をとるにつれて私も同じことを自分の子どもに言うようになってきた。
177. 今度のコンサートで演奏する曲には高度な技術が要求される。何カ月も準備してきたからには、失敗するはずはないと思うが、それでもやはり不安が残る。
178. 人はいつも勇気を持つてという。しかし臆病ではいけないのだろうか。臆病であればこそ、用心深くなり、危険を避けることができるのだ。
179. あの名人も初めからこんなに仕事ができただけではない。若いころは、先輩のやることを見て、できないながらもそのまねをしていたのだった。
180. 試験の日に朝寝坊をした弟の慌てようとまったくなかった。
181. 彼女は3度の足のけがをものともせずオリンピックの代表選手になった。
182. 田中さんは周囲の心配をよそにヨットで長い航海に出た。
183. このたび代表として国際会議に行かせていただくことになりました。
184. 私のとき未熟者にこんな重要な役が果たせるでしょうか。
185. 休養に徹すると言いつつながら頭から仕事のことが離れない。
186. 鈴木アナウンサーは今日のサッカーの試合の中継放送をかぎりに引退した。
187. 姉ときたら、最近のおしゃれのことばかり気にしている。
188. 選手たるもの、試合においては堂々と戦え。
189. どんな小さな成功も努力あつてのことだ
190. 父親が帰ると、待っていたとばかりに娘はおみやげをねだった。
191. 掃除が終わったらおやつがもらえるとあつて子供は一生懸命手伝っている。

192. 昔は親に反抗しようものなら、すぐにたたかれたものだ。
193. 息子はこづかいをやったそばから使ってしまう。
194. どもまみれになって働いても、もらえる金はわずかだ。
195. あの子はいったん遊びに出たが最後、暗くなるまでもどって来ない。
196. 地震のことなど想像するだけに恐ろしい。
197. 見舞いに来ないまでも電話ぐらいはするものだ。
198. 結婚をひかえ、家具はもちろん、皿やスプーンにいたるまで新しいのを買いそろえた。
199. コンピューターに入れておいても、うっかり消してしまえばそれまでだ。
200. 課長である以上、そんな大事なことを知らなかったではすまされないだろう。
201. 友達の励ましなくしては作品の完成はなかったであろう。
202. 知らないくせに知っているようなふりをするものじゃない。
203. そんな簡単なこと、わざわざあなたに説明してもらうまでもない。
204. 事故で家族を失った人の話を聞いて、涙を禁じえなかった。
205. 台風によって交通機関が止ってしまい、旅行の中止を余儀なくされた。
206. みんなから信頼されている彼をおいてほかに適当な人がいるだろうか。
207. 親があればこれ言うのはあなたのことを心配していればこそだ。
208. 問題がこじれてしまう前に対策をたてるべきだったのに、ことここにはどうしようもない。
209. この奨学金は留学生のためのものです。出身国のいかによらず応募することができます。
210. 人には精神の豊かさこそが第一に必要なものである。どんなに物質的に豊かになったからといって、幸せだとは限らない。
211. 同じ兄弟でありながら、彼らほど性格が違うのも珍しい。いつも冷静でしっかり者の兄にひきかえ、弟のほうはなんと落ち着きのないことか。

212. 父も母も、これまではただ仕事ひとすじで、人生を楽しむゆとりがなかった。海外旅行はおろか国内さえもほとんど見て回ったことがない。
213. 世界経済の自由化の波は、日本の農業にも深刻な影響を与えた。米は一粒たりとも輸入させないと言っていた人々も、もうそんなことを言うてはいられなくなった。
214. ラジオから流れてくる日本の民謡を聞くともしに聞いていると、何だか懐かしい気分になった。どうしてだろうと思ってよく聞いてみると、私のふるさとの音楽とリズムが一緒だった。
215. 新車の発売にさきだち展示会が開かれた。
216. 雪がとけて、野の花もさきはじめ、日ざしも春めいてきた。
217. 娘は家へ帰るやいなやおなかがへったと言って、冷蔵庫をのぞきこんだ。
218. いくら少人数にしてもパーティーをするにはこの部屋は狭すぎる。
219. 国の情勢いかんによっては訪問を中止することもある。
220. 新製品の宣伝について、わたしなりに考えた案を説明した。
221. みなさん、わざわざお出迎えくださり、ありがとうございます。
222. 新しい家を買うため見に行ったが、夜のこととて日当たりのことはわからなかった。
223. プロの選手ともなるとさすがに実力が違うようだ。
224. こんなにみごとな絵が、芸術でなくてなんだろう。
225. 世間で言われているほどでもなく、意外にやさしい入学試験でしたよ。
226. 今日の午後はちょっと早めに帰らせていただきたいのですが。
227. 隣のご主人は、奥さんが亡くなってからというものほとんど外出しなくなった。
228. 兄は締切りに間に合わせるべく、昼も夜も論文に取り組んでいる。
229. あの老人は小説を書くかたわら絵も描いている。
230. 田中さんは学生の身でありながら、いくつもの会社を経営している。

231. 急なことゆえにたいした準備もできず、申しわけないことをしてしまった。
232. 彼は40歳にしてようやく自分のいきるべき道を見つけた。
233. この吹雪では遭難しかねないので、引き返すことにしましょう。
234. 相手を十分納得させるにたるデータを示す必要がある。
235. 事実を言おうか言うまいかと、廊下を行きつ戻りつ考えた。
236. あの家の息子は父親から会社をまかされて、前にもまして仕事に励むようになった。
237. 住所も電話番号もわからないので、連絡のとりようがない。
238. 長期は無理だが、短気ならその依頼に協力できないものでもない。
239. あの社員は客の金を使ったのだから処罰されずにはすまないだろう。
240. 久しぶりに友人から電話がかかってきたが、元気で研究を続けているそうでうれしいかぎりだ。
241. 役者でもあるまいし、こんなに腹を立てているのにニコニコなんかしてられるものですか。
242. スイッチの入れ方すら知らない人に、この装置を動かしてみろなんて、よく言えますね。
243. わたしがビジネスでこれまでに訪れたことのある国は、すでに50をこえているのではあるまいか。
244. 親は子供がまんがを読むのを快く思わない。しかし、まんがといえども立派な文化の産物である。
245. 町の再開発をいっきよに進めるには無理がある。実状に即して計画を練らなければならない。
246. この間の会議で田中さんは独創的な企画を出した。ベテラン技士ならではの素晴らしいアイデアである。
247. 雪で一週間山小屋に閉じ込められた。空腹や寒さもさることながら、話せる相手がいないことが最もつらいことだった。
248. 彼のあざやかなプレーには、だれもが目をうばわれた。そして、味方の応援団からのみならず、相手のチームの人々からも拍手がわいた。
249. 今までたばこを吸うことなしには一日もいられなかった。しかし、医者にきつく止められたので、こ

れからは禁煙しなければならない。

250. 強風で、家から出ようにも出られなかった。
251. 身長2メートルからある大男が、突然、目の前に現れた。
252. 花田さんの冗談には、いつも思わず笑わせられた。
253. だれにも知られることなしに、準備を進めなければならない。
254. 患者のプライバシーをほかの人に漏らすなんて、医者としてあるまじきことだ。
255. たとえ子供であれ、自分のしたことは自分で責任をとらなければならない。
256. 将棋のおもしろさを知ってからというもの、彼はひまさえあれば将棋の本ばかり読んでいる。
257. もうとても追いつけないだろうとおもいきや、驚くほどの速さで彼は一気に先頭に走り出した。
258. どちらにしたところで、そうたいした差があるとは思えない。
259. 部下からそんなことを言われるとは、さぞ不愉快だっただろう。
260. 国は早く対策をたててほしいと、被害者たちは涙ながらに訴えた。
261. 「あ、だれかおぼれてる」と言うなり、彼は川に飛び込んだ。
262. 服装はいつもとだいぶ違うが、やっぱりあれは田中さんに相違ない。
263. 水も食料もない状況にあって、人々は互いに助け合うことのたいせつさを学んだ。
264. 君自信の問題だから、「やめてしまえ」とまでは言わないが、いまいちど考え直してみたらどうだろうか。
265. 飛行機がダメなら、列車で行くまでのことだ。
266. 留学したい気持ちはわかるが、この病状では、延期せざるをえないだろう。
267. 今にも夕立が降り出さんばかりの空模様だ。
268. とてもうれしくて、この喜びをだれかに話さずにはいられなかった。
269. わからない単語があったら、辞書を引くなりだれかに聞くなりして、調べておきなさい。

270. 手術後の経過が順調だったら、来週は散歩に出てもさしつかえない。
271. 新企画の中止が決まろうとしているが、担当の者たちは反対せずにはおかないだろう。
272. 習慣や考え方は人によって異なるので、自分にとっての常識は他人にとっての非常識でないともかぎらない。
273. 申請書の提出締め切りは明日の午後4時だが、早めに出せばそれにこしたことはない。
274. 優秀な田中君のことだから、論文を1週間で仕上げたと聞いても驚くにはあたらない。
275. 駅前の新しい喫茶店は、明日の開店をひかえてすっかり準備が整い、あとは客を待つばかりになっている。
276. 人はとかく自身に都合がいい意見にのみ耳を傾けるきらいがある。
277. 森の動物たちの映画を見て、家族の愛情に心をうたれた。
278. ああした方がいい、こうした方がいい大騒ぎしたあげく、このしまつた。
279. あの役者のきざな格好は、まったく見るにたえない。
280. 山下博士が画期的な理論を打ち立てたと新聞に出ていた。博士の頭脳と実力をもってすれば、それは意外なことではない。
281. こんな悪天候の中を歩いていらしたんですか。電話をくだされば車でお迎えにまいりましたものを。
282. 何もおっしゃらないでください。私なりによく考えたすえに出した結論なのです。
283. 新校舎の完成は大幅に遅れているらしい。現状からするとあと1か月はかかりそうだ。
284. 来月市民ホールが完成する。3日の記念講演をかわきりに、コンサートや発表会などが連日予定されている。
285. あんまり腹が立ったので、つい言わずもがなのことを言ってしまった。
286. 田中さんは、責任はお前にあると言わんばかりの態度だった。
287. 山本さんは、意見を求められると、待っていましたとばかりに自分の説を展開し始めた。

288. 彼は、事件に関係していない **かのごとく**、知らぬふりをしていた。
289. 次の首相にふさわしい人物は、彼をおいて、ほか **にはいない**。
290. この事業が成功したのも、貴社のご協力が **あれば**こそです。
291. 真実を明らかに **せんがため**、あらゆる手を尽くす。
292. もうすぐ海外旅行に行くというのに切符の手配 **はおろか**、パスポートも用意していない。
293. 警官 **たる**者、そのような犯罪にかかわってはいけない。
294. 住民の反対運動が盛り上がるのを **よそに**、高層ホテルの建設工事はどんどん進められた。
295. 先日お世話になったお礼 **かたがた**、部長のお宅にお寄りしました。
296. 彼は、貧しい **ながらも**温かい家庭で育った。
297. ことここに至っては、素人にはどうすることも **できない**。
298. 戦争の映画や写真を見るたびに、戦争への怒りを **禁じえない**。
299. いくら急いだ **ところで**始発のバスはもう間に合わない。
300. 叔父の持ち込んだもうけ話しは、どうも **うそっぽい**です。
301. 先生に **おかれましては**、ますますお元気でご活躍のことと存じます。
302. あの子は学校から帰るとすぐ友達と出かけたが、さて、どこへ **行ったやら**。
303. ほかの従業員の倍の仕事をさせられている **割には**、給料が低い。
304. あの人に発言させようものなら、**一人で何時間もしゃべっているだろう**。
305. 山本さんは、ある日突然会社をやめて周りの人を驚かせたが、あの人の性格を考えると、理解 **で**
きなくはない。
306. その新人候補は、今回の選挙に必ず当選してみせると断言して **はばからない**。
307. これは早急に結論を出さなければならない議題だ。全員集まろうが集まるまいが、予定どおりに
審議を始め **なくてはならない**。

308. 食事の用意をするといっても、材料も買ってなければ調味料もそろってない。これでは、作ろうにも**作れない**。
309. 農業での品種改良の技術は日々進歩している。しかし、どんなに優れた技術であっても自然への影響を考えると**進められない**。
310. 海辺の町で育ったと聞いていたので、さぞかし泳ぎがうまいだろうと思いきや、**水に浮くこともできないらしい**。
311. 夏は体の調子を崩しやすく、私にとっては冬の方が過ごしやすい。そうは言っても、毎日こう寒く**てはかなわない**。
312. 去年のコンクールでは、私はあんなに練習したのに入賞できなかった。今年はもっと練習して、き**っと優勝してみせよう**。
313. 「だれかポスターをかいてくれる人を知りませんか。来月、社内オーケストラのコンサートを開くんです」
「ああ、それなら弟に**かかせてやって**くださいませんか。美術学校の生徒なんです」
314. A社とB社は合併することになったらしい。C社に対抗するため**とはいえ**、思い切った決断をしたものである。
315. 田中君は先週ずっと授業を休んでいて、試験を受けなかった。卒業を控えた身**でありながら**海外へ遊びに行っていたらしい。
316. 画家の山本さんは、これまでに数多くの優れた作品を描いている。信じられない**ことに**、その作品の多くは一日で仕上げたものだそうだ。
317. 坂本さんの論文は大変すばらしい。山田教授の指導**のもとに**修正を重ねた結果だということだ。
318. 環境に配慮したエンジンを開発するため、各企業は必死に研究を続けている。担当者は休日出勤**までして**開発に力を注いでいるらしい。

319. 会社の評判にかかわるから、製品の品質管理は厳しくしなければならない。
320. 無料で映画が見られるとあって、入り口の前には1時間も前から行列ができた。
321. 仕事が山のようにあって、日曜日とはいえ、出勤しなければならない。
322. かたづけるとそばから子どもがおもちゃを散らかすので、いやになってしまう。
323. この子は小学生にしてはずいぶんしっかりしている。
324. 貧しいがゆえに十分な教育を受けられない人がある。
325. やりようによっては、その仕事はもっと簡単に済ませることができる。
326. 親に経済的な負担をかけまいとしてアルバイトで生活費を稼いだ。
327. 今年度の反省をふまえて来年度の計画を立てなければならない。
328. あの店の服は、品質とデザインと申し分ない。
329. 子どものために思えばこそ、留学の費用は子ども自身に用意させたのです。
330. 火山の噴火の影響は、ふもとにとどまらず、周辺地域全体に及んだ。
331. 大災害により財産のみか肉親までも失った。
332. 彼は足が痛いなのだと理由をつけては、サッカーの練習をさぼっている。
333. どんなに反対されようとも、自分が正しいと思う道を進みたい。
334. 父の病気にかこつけて、会への出席を断った。
335. 有名な観光地の近くまで行ったのに、忙しくてどこへも寄らずじまいだった。
336. ふるさとを歌ったこの歌は、子どものころの思い出とあいまって、私の心に深く響く。
337. どんな相手でも、試合が終わるまでは一瞬たりとも油断はできない。
338. わが社は学歴によらず本人の実力で採用を決めている。
339. どろぼうにかなりの額の現金をとられはしたが、命をとられなかっただけでした。
340. 審査員が彼の作品を見て、そのすばらしさに驚いたことは、想像にかたたくない。

341. 孫が無事生まれたとの知らせに、彼が喜んだのはいうまでもない。
342. 銀行がもう金を貸してくれなくなった以上、この会社もこれまでだ。
343. この部屋には、関係者以外入ってはいけないことになっている。
344. 今年の米のできは、まあまあといったところだ。
345. 夏祭りの計画は、予算不足のため、変更を余儀なくされた。
346. さっき田中さんから電話があつて、今日の野球の試合は、天気が悪いから中止なんだった。
347. 小さい子を一人で遠くに遊びに行かせるものではない。
348. 結婚が決まったときの彼の喜びようといったらなかつた。
349. ある宗教を、他の人にも勧めてまわるくらい熱心に信仰する人がいる。一方で、宗教には全く関心を持たない人もいる。
350. お客さんにきちんとあいさつするくらい、子どもじゃあるまいし、言われなくてもやりなさい。
351. 必死の練習のかいもなく、オリンピックの代表選手には選ばれなかつた。
352. 結婚する二人の今後の幸せを願ってやまない。
353. 連絡もなしにお客様がいらっしゃつたが、急なことで、何のおもてなしもできなかつた。
354. 彼は、父である前社長のあとを継いで社長になった。しかし、社長といつても名ばかりで、会社のことは何も知らない。
355. 出席欠席のいかんによらず、同封した葉書にてお返事くださるようお願いいたします。
356. 私は、彼の失礼きわまりない態度に我慢ならなかつた。
357. 田中さんは、この1週間というもの、仕事どころではないようだ。
358. この町に大きな自動車工場ができるので、来年には労働人口が大幅に変化すると思われる。
359. 私の料理を一口食べるなり、父は変な顔をして席を立ってしまった。
360. 会社を辞めたいというあなたの気持ちは、わからないでもないが、無断で仕事を休むのはよくない

いと思う。

361. 周囲の反対をものともせず、兄はいつも自分の意思を通してきた。
362. それを言ったが最後、君たち二人の友情は完全にこわれてしまうよ。
363. 猫の子一匹たりとも、ここを通らせないぞ。
364. 彼は、お金のためとあれば、どんな仕事でも引き受ける。
365. だれが何と言おうと、謝る気は全くない。
366. 山川さんは、この間彼自身が入院した時の話をして、「ぼくは手術の前には水が飲めなくて、それはつらい思いをした」と言った。
367. 彼は、言葉づかいこそ悪いが、とてもやさしい人間だ。
368. 母はどんなに辛くとも、決してぐちを言わなかった。
369. あのとき彼女がそう言ったなら、僕はどんなことをしてでも助けただろうに。
370. この絵は、昔父が借金までして手に入れたものです。
371. しっかりかぎをかけないと、泥棒に入られないともかぎらないから注意してください。
372. 休み中、食べては眠り、食べては眠りの連続で、すっかり太ってしまった。
373. この程度の実力ならば、彼は恐れるにたりない。
374. この大学は七つの学部に分かれていて、学生数は日本一である。
375. 株の取引も、大金持ちの彼女にとっては単なる遊びといったところだ。
376. 母校のチームが去年の優勝校を破ったからといって、それほど驚くにはあたらない。
377. この映画は評判が高く、見る者を感動させずにはおかないだろう。
378. あなたがたまたま確認してくれたからよかったものの、もう少しで原稿の締め切りに間に合わなくなるどころだった。
379. 道路拡張の工事のために、この周辺の人々は引っ越しを余儀なくされた。

380. 新しく住宅開発を進めるなら、この地域を**おいて**ほかにない。
381. 山田さんの話し方は発音がきれいで聞きやすく、さすがに元アナウンサーだった**だけのことはある**。
382. 実験に1回失敗したからといって、あきらめてしまう**ことはない**。
383. 事故の被害者の見舞いに行ったが、相手はほとんど口もきかず、まるで早く帰れと**いわんばかり**だった。
384. 相手の話も聞かずに自分の主張だけ通そうとするなんて、それはわがまま**というものだ**。
385. 新しいダム建設には住民の反対も大きい。国は計画を中止するとは**言わないまでも**、もう一度見直さざるを得ないだろう。
386. 彼の給料は1か月40万円だ。それ**にひきかえ**私の給料はなんと安いことか。
387. 末っ子の弟は甘やかされて育ったから、兄弟の中で一番わがままだ。気に入らないことをちょっとでもされよう**ものなら**すぐに大声で泣き叫ぶ。
388. 両親は、息子に病院の跡を継いで医者になってほしいと思っているようだ。だが、親の希望も**さることながら**、やはり本人の気持ちが第一だろう。
389. 当時は会社の経営が困難を極めた時代だった。そのため、父は責任者という立場**にあって**寝る時間も惜しんで働かなければならなかった。
390. 山田さんはもともと世話好きで、だれに対しても親切だ。そんな彼女の**ことだから**、困っている友達をほうっておけなかったのだろう。
391. 連休中、海や山は言うに**およばず**、公園や博物館まで親子連れであふれていた。
392. 新入社員**ならいざしらず**、入社8年にもなる君がこんなミスをするとは信じられない。
393. 彼に一言でも**話そうものなら**、あっという間にうわさが広がってしまうだろう。
394. 彼女はここ一ヶ月**というもの**授業を休んでいる。

395. 私の妹は両親の反対を**おして**結婚した。
396. 皆の前でこれが正しいと言ってしまった**てまえ**、今さら自分が間違っていたとは言いにくい。
397. 部屋の中の物は、机**といわず**いす**といわず**、めちやくちやに壊されていた。
398. 好きなことを我慢**してまで**長生きしたいとは思わない。
399. 日本全国、その地方**ならではの**名産がある。
400. 周囲の人々の興奮**にひきかえ**、賞をもらった本人はいたって冷静だった。
401. そのパソコン、捨てる**くらいなら**私にください。
402. 新しい条約は、議会の承認を**経て**認められた。
403. 彼のやったことは、人としてある**まじき**残酷な行為だ。
404. 皆さんお帰りになった**ことだし**、そろそろ会場を片づけましょう。
405. いたずらをしていた生徒たちは、教師が来たと**みるや**いっせいに逃げ出した。
406. こんな貴重な本は、一度手放した**がさいご**、二度と再びこの手に戻って来ないだろう。
407. 昨日の飛行機事故は、世界中に衝撃**をもって**伝えられた。
408. わざわざ**言われるまでもなく**、私は自分の責任を認めている。
409. 今日の会合には、どんな手段を**使っても**時間どおりに到着しなければならない。
410. 国会で法案を**通さんがため**、首相は根回し工作を開始した。
411. 子どもたちが学校へ通う道なのに、信号がないのは危険**きわまりない**。
412. 世界的に有名な俳優と握手できたなんて、感激の**きわみだ**。
413. ここ数年、この町の人口は減る**一方だ**。
414. たった1回の授業では、とてもこの本の内容を説明**しきれない**。
415. 100万円も払ってこんな役に立たない機械を買うのは君**ぐらいのものだ**。
416. 戦争で多くの人が殺されているなんて、これが悲劇**でなくてなんだろう**。

417. どのコンピューターにしたらよいか、なかなか一つには**決めがたい**。
418. 土地が高い都会では、家などそう簡単に手に入る**べくもない**。
419. この交通事故の原因は、運転者が前をよく見ていなかったためだと**見られている**。
420. 彼女は、何でもものごとを悪い方に考える**きらいがある**。
421. 国の経済は、鉄道やトラックなどによる貨物の輸送に依存している。国全体に広がる交通網**なくしては**、1日たりとも成り立たない。
422. 彼は本当に仕事をする気があるのかどうか、疑いたくなる。遅刻はする、約束は忘れる、ついには居眠り運転で事故を起こす**しまった**。
423. 友人の一人娘が結婚することになった。さぞ喜んでいるだろう**と思いきや**、娘がいなくなるさびしさに、ため息ばかりついているそうだ。
424. 私の家のまわりは、歴史のある神社やお寺が多く、海にも近いため、有名な観光地になっている。休日ともなると、**朝から観光客の車で道路が渋滞する**。
425. 息子は、学校に行く際に、必ずと言っていいほど忘れ物をする。出かけたかと思うと**すぐ忘れ物を取りに帰ってくる**。
426. 80才の祖母は、この間階段で転んで足を痛め、歩くのが不自由になってしまった。**とはいえ**、全く歩けないということではないので、家事をするには問題ないとのことだ。